

**TOM'S SPIRIT**

スーパー耐久シリーズ 2018  
岡山国際サーキット  
2018年11月3日(土)

**予選**

天候: 晴れ 路面: ドライ



11月3日(土)、スーパー耐久シリーズ最終戦となる第6戦が岡山国際サーキットにて開催された。第2戦SUGO大会以来となる、2グループに分かれての3時間レースとなる。TOM'S SPIRIT 86は、今シーズン5度目となるポールポジションを獲得した。

- 金曜日には3本の専有走行があり、3本目の走行時にエンジンの不調が発覚。エンジンの載せ替えを行った。
- 予選前のフリー走行で予選に向けての最終確認を行った。
- A・Bドライバー共に、トップタイムを出し合算タイムでポールポジションを獲得した。
- Cドライバー予選は、決勝を見据えてのセットで走るもクラストップタイムをマーク。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	1位	1'43.147
坪井 翔			1'43.114
中山雄一			1'44.384

気温	21.2℃	※Aドライバー予選スタート時
路面温度	38.2℃	



**松井孝允【Aドライバー】**

フリー走行からマシンのバランスは良く、タイヤの暖まりもチームの戦略で上手くアジャストしてもらいました。そのお陰でポールポジションを取る事ができました。決勝もこのまま行けるように頑張ります。

**坪井 翔【Bドライバー】**

練習から好調で、バランスも良かったのですが、路温などで微妙にタイヤグリップとマシンバランスが合わない部分もありましたが、合算でポールポジションは取れたので良かったと思います。

**中山雄一【Cドライバー】**

松井選手と坪井選手が完璧なアタックでポールを獲得。私のCドライバー予選では、いつも通り決勝に向けてのマシンのバランス確認をしました。岡山ではタイヤの特性が特にピーキーに感じ、セットアップをピンポイントで合わせ込むのは容易ではない感覚がありました。

**三塚 隆【チーム代表/監督】**

A、B、Cドライバー共に想定していたタイムより若干遅かったものの、全部のセクションでベストタイムが出せポールポジションを取る事ができました。岡山ではクリアーを取るのが難しい中、ドライバーがベストを尽くしてくれた結果ポールポジションを取れて嬉しく思います。

## TOM'S SPIRIT

スーパー耐久シリーズ 2018  
岡山国際サーキット  
2018年11月4日(日)

### 決勝

天候:晴れ 路面:ドライ



スーパー耐久シリーズ第6戦の決勝レースが、岡山国際サーキットにて行われた。ポールポジションからスタートしたTOM'S SPIRIT 86 だったが、トップにおよそ3秒届かず、惜しくもクラス2位でレースを終えた。

- 今大会は2グループに分かれての3時間レース。ピットストップ義務回数は2回となる。
- 朝8時から迎えたスタート進行の際、リヤサスペンションに違和感を感じたがグリッド上では確認できず、タイヤ交換をしてスタートする。
- 今回のスタートドライバーは坪井選手。1周目に58号車(インテグラ)に抜かれるも、逆転のチャンスをうかがい14周目にトップを奪い返す。
- 9秒程のマージンを持って、37周目に松井選手にドライバー交代と給油を行う。
- スタート前に違和感のあったリヤサスペンショントラブルの為、トラクションが効かずタイムを上げる事ができない中、64周目まで13号車(86)を押さえていたが、65周目のヘアピンでついに逆転を許してしまう。
- 75周目に2回目となるドライバー交代と給油をし、中山選手をコースに送り出す。その後、中山選手は13号車との差を徐々に縮めながら懸命に追い上げたが、およそ3秒足りず最終戦を2位で終えた。

ドライバー	車番	クラス順位	ベストタイム
松井孝允	86	2位	1'45.175
坪井 翔			1'44.415
中山雄一			1'45.251

気 温	10.8°C	※決勝グリッド
路面温度	12.5°C	



#### 松井孝允【Aドライバー】

スタートから坪井選手が良い走りをしてくれたのですが、なかなか後続を引き離せず、更にペースも上げられないまま僕のステイント、中山選手と続きました。その結果エンドレスに負けてしまいましたが、チームとしては最大限のベストは尽くせたと思うので、最後まで成長できた1年でした。1年間ありがとうございました！

#### 坪井 翔【Bドライバー】

昨年の岡山以来のスタートドライバーを担当しました。早々に抜かれてしまいましたが、想定内だったので落ち着いてレースを展開し、チャンスでは抜く事ができてリードを築く事もできました。その後も、チームもドライバーもミスなくいきましたが、エンドレスに少し足りず2位。悔しいですが、やり切った結果なので素直に受け止めて次に活かしたいと思います。

#### 中山雄一【Cドライバー】

ラップタイム、ピット作業、作戦、この全てで大きく失敗した部分はありませんでしたが、ライバルには僅差ながら敗れてしまいました。有終の美を飾る事はできませんでしたが、皆が次の舞台へ向けて努力すべき事を発見できた事は、とても良かったと思います。

#### 三塚 隆【チーム代表/監督】

コースインの時からリヤのサスペンションがおかしい事に気がりましたが、直せないままのスタートとなりタイムを上げる事ができなかった為、ポールポジションからの逃げ切りができませんでした。しかし、ドライバー3人の頑張りにより2位をキープする事ができました。1年間ありがとうございました。